



「コミュニティカレッジ」は堀川高校が提案する新しい生涯学習の形です。
先進的な施設設備を活用して、本校はもとより京都市および周辺の人的・物的学習資源を生徒・市民に還元する場であるとともに、学が楽しさを通して交流する場——京都市立高等学校21世紀構想委員会の提言を受けて堀川高校が企画・提供します。

講演会のお知らせ

鷲田清一氏からのメッセージ

学ぶことは言葉を失うことから始まります。そして考えぬき、自分を組み換えたあとにようやっと、もっと見晴らしのよい場所に出ます。だからその場所に出るまでどれだけ無呼吸でいれるか、いってみれば知性には肺活量が要ります。この肺活量を鍛えるためには、滑らかな言葉を覚えるよりも、まずは「口ごもること」を大切にしなければなりません。そういう視点から「学ぶ」ということの意味について考えてみます。

日 時：2013年9月7日(土)午後1時30分～3時30分
会 場：堀川高校講堂（5階）
演 題：「口ごもることの意味」
講 師：鷲田 清一 氏（大谷大学文学部教授）

□講師略歴

1949年京都市生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。関西大学教授、大阪大学教授、大阪大学大学院文学研究科長・文学部長、大阪大学理事・副学長、大阪大学総長を経て、現在、大谷大学文学部教授、せんだいメディアテーク館長。専門分野は哲学・倫理学。研究領域は、現象学・臨床哲学・身体論・他者論。

□著 書

『「聴く」ことの力』（桑原武夫学芸賞、1999）、『モードの迷宮』（サントリー学芸賞、1996）、『「ぐずぐず」の理由』（読売文学賞、2011）、『顔の現象学』（講談社学芸文庫）、『悲鳴をあげる身体』（PHP新書、1998）、『「待つ」ということ』（角川学芸出版、2006）、『老いの空白』（弘文堂）『京都の平熱 —哲学者の都市案内—』（講談社）、『思考のエシックス 反・方法主義論』（ナカニシヤ出版）、『死なないでいる理由』（角川学芸出版、2008）、『わかりやすいはわかりにくい？』（ちくま新書、2010）など多数。

連絡先／堀川高校企画研究部 TEL (075) 211-5351

- 「探究科目」1年生特別授業として位置付けます。
(1年生は申し込みをする必要はありません)
- 本校2・3年生、保護者および市民の方の定員は50名とさせていただきます。
- 先着順により、定員を越えた申し込みのみ、こちらからご連絡いたします。
- 保護者及び市民の方はスリッパをご持参ください。
- 個人情報保護の観点から、個人の情報はこの講座以外には使用しません。

◎申し込み方法：FAX・Eメール・Webでお申し込みください。

(電話でのお申し込みは受け付けられません。)

FAX・Eメールでお申込みの場合は、

①日時 ②住所 ③氏名 ④電話番号(FAX番号)をご記入ください。

(個人情報保護の観点から、個人の情報はこの講座以外には使用しません。)

◎申し込み先：堀川高校企画研究部 FAX：075-211-8975

Eメール：c_college@horikawa.edu.city.kyoto.jp

(*を@にかえてください)

◎申し込み締切：8月30(金) (1年生の生徒は申し込みをする必要はありません)